

研究・調査報告書

| | |
|---|-------------------|
| 報告書番号 | 担当 |
| 528 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学 |
| 題名 (原題/訳) | |
| Alcohol consumption and risk of incident human immunodeficiency virus infection: a meta-analysis 飲酒とHIV感染リスク：メタアナリシス | |
| 執筆者 | |
| Baliunas D, Rehm J, Irving H, Shuper P. | |
| 掲載誌 (番号又は発行年月日) | |
| Int J Public Health. 2010 Jun;55(3):159-66. Epub 2009 Dec 1. | |
| キーワード | |
| アルコール、HIV、発生、メタアナリシス | |
| 要旨 | |
| 目的： 飲酒量と HIV 感染との関連を分析することを目的とした。 | |
| 方法： 論文は電子データベースから HIV 感染、アルコール消費量及びその 2 つの関連について記載した論文を検索した。DerSimonian・Laird ランダム効果モデルを使用して検討した。また 1 つ以上の酒類の評価をもつ研究は、評価は逆分散重み付け法を使って結合された。出版バイアスは Begg' s and Egg' s 検定を使い評価された。不均一性は、Q and I ² 統計を使い評価した。 | |
| 結果： 10 研究がメタアナリシスの対象となった。全体的に飲酒は HIV 感染のリスクを増加させた(RR: 1.98, 95%CI: 1.59-2.47)。飲酒者は 77%高いリスクをもっていた (RR: 1.77, 95%CI: 1.43-2.19)。性的関係前またはその時の飲酒は 87%高いリスクをもっていた (RR: 1.87, 95%CI: 1.39-2.50)。多量飲酒者にとって、そのリスクはそうでない人に比べ 2 倍であった (RR: 2.20, 95%CI: 1.29-3.74)。 | |
| 結論： 飲酒は HIV 感染のリスク上昇と関連していた。因果関係を含めたこの二つの関連についてのメカニズムの更なる研究が今後、必要である。 | |